

エコアクション21 環境経営レポート

取組期間
2023年7月～2024年6月



第4版
作成 2024年8月21日

有限会社 木下建設


®環境省
エコアクション21
認証番号0013647

目 次

1.環境経営方針・・・・・・・・・・	1
2.事業の概要 ・・・・・・・・・・	2
3.EA21推進体制 ・・・・・・・・・・	3
4.環境経営目標(中期計画)・・・・・	4
5.環境経営計画 ・・・・・・・・・・	5
6.環境経営目標の実績・・・・・・・・・・	6
評価と今後の取組内容	
7.環境法規の遵守評価・・・・・・・・・・	7
8.代表者による全体評価・・・・・	8
9.次期環境経営目標・・・・・・・・・・	9
10.具体的な取組状況・・・・・・・・・・	10

1.環境経営方針

環境理念

私たち、有限会社木下建設は深刻化する地球温暖化への対応として、個人個人で出来ることを考えて、よりよい地球環境の創造及び地域社会に貢献することを目指すため、環境経営方針を定め、以下の事項について積極的に環境活動を推進する。

行動指針

- (1) 二酸化炭素排出量の削減
 - ・電気 ガソリン 軽油等の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減に取り組みます。
- (2) 廃棄物の削減
 - ・事業活動に伴う産業廃棄物について、分別回収による資源の有効活用に努めます。
 - ・一般廃棄物の分別活動を推進して、適切なリサイクルに努めます。
- (3) 水使用量の削減
 - ・水道使用時の水量を削減し、総排水量の削減に努めます。
- (4) 環境配慮型工事の推進
 - ・環境に配慮した工事を推進します。
- (5) 地域貢献
 - ・地域の清掃活動を実施して、地域に貢献していきます。
- (6) 環境関連法規制の遵守
 - ・事業に関する環境関連法規制等を遵守します。

社員全員がこの環境経営方針を認識し、全員でEA21に取り組んでいきます。
PDCAを回すことにより、環境経営の継続的改善に努めます。

制定：2021年10月31日
改定：2023年7月1日
有限会社 木下建設
代表取締役 河添里恵

2.事業の概要

(1) 事業者名 有限会社 木下建設

代表取締役 河添 里恵

(2) 所在地

本社 : 〒861-3106 熊本県上益城郡嘉島町上島170

(3) 環境保全関係の担当者連絡先

環境管理責任者 : 木下 武

連絡担当者 : 嶋本 孝子

連絡先 TEL:096-237-1350 FAX:096-237-1559

(4) 事業規模

資本金 3000万円

社員数 10名

売上高 18,526万円(2023年度)

(5) 事業内容

土木一式工事、舗装工事

建設業許可番号

熊本県知事 許可 特-4 第006726号

(6) 環境年度

期首: 7月 期末: 6月

(7) 認証登録範囲

有限会社木下建設の全組織、全活動を認証登録範囲とする。

(8) 設備等

重機(バックホウ):4台

車両 軽トラ:1台

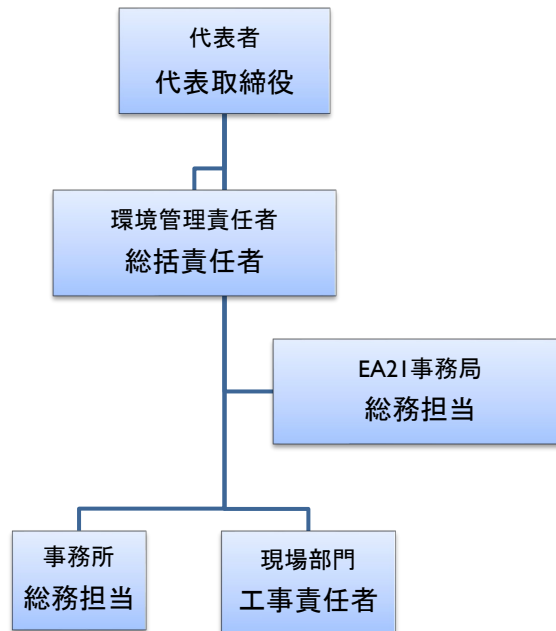
乗用車(ハイブリット):1台

(9) ・SDGsの登録 (熊本県 2022.9.8)

・健康経営優良法人2024(中小規模法人部門)認定

・ブライツ企業認定(2024.12.5~2027.12.4)

3.EA21推進体制



代表者	・環境方針の制定 ・環境組織の明確化、必要な資源の投入 ・全体の評価と見直し
環境管理責任者	・マネジメントシステムの構築、実施、維持 ・目標管理票の作成と進捗管理 ・目標に対する実績や問題、改善の社長報告 ・環境コミュニケーションの総括窓口 ・教育・訓練の総括（緊急事態の想定、訓練含む）
EA21事務局	・集計表作成 ・文書、記録作成 ・環境活動進捗の把握
事務所責任者 現場責任者	・環境活動の社員への周知 ・環境管理責任者への報告 ・改善提案のまとめと提言
社員	・環境活動の実施 ・部門責任者への報告 ・改善提案

4.環境経営目標(中期計画)

会計年度 期首:7月 期末:6月

		実績	環境目標		
		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
番号	項目	基準年実績	環境目標	環境目標	環境目標
1-1	二酸化炭素排出量	45,128 kg-CO2	基準年度実績 の1%削減 44,677	基準年度実績 の2%削減 44,225	基準年度実績 の3%削減 43,774
1-2	電気使用量の削減	8,715 kWh	基準年度実績 の1%削減 8,628	基準年度実績 の2%削減 8540.7	基準年度実績 の3%削減 8453.55
1-3	ガソリン使用量の 削減	3,354 ℓ	基準年度実績 の1%削減 3,321	基準年度実績 の2%削減 3,287	基準年度実績 の3%削減 3,254
1-3	軽油使用量の削減	12,857 ℓ	基準年度実績 の1%削減 12,728	基準年度実績 の2%削減 12,600	基準年度実績 の3%削減 12,471
2-1	一般廃棄物の リサイクル推進	—	分別活動 の推進	分別活動 の推進	分別活動 の推進
2-2	産業廃棄物の リサイクル推進	100%	建設関連の廃棄物 のリサイクル率100%	建設関連の廃棄物 のリサイクル率100%	建設関連の廃棄物 のリサイクル率100%
3	水使用量の削減	—	節水の推進	節水の推進	節水の推進
4	環境配慮型工事の推進	—	工事の推進	工事の推進	工事の推進
5	地域貢献	地域清掃	1回/年	1回/年	1回/年

★電気の二酸化炭素排出係数は、2020年度の九州電力調整後排出係数の0.479kg-CO2/kWhを使用

☆化学物質の使用はなし。

☆水は地下水を使用しているがメーターがないので数値は把握できない。

☆灯油、LPGは生活用の使用で、量も少ないため目標には設定せず、日常で管理していく。

☆☆二酸化炭素排出量＝電気使用量×0.479＋ガソリン使用量×2.32＋軽油使用量×2.58

5.環境経営計画

項 目	具 体 的 な 活 動	頻度	本社	現場
1. 二酸化炭素排出量 1-1. 電気使用量 の削減	①昼休みの消灯	毎日	○	○
	②使用時以外のトイレの消灯	毎日	○	○
	③〇A機器, 空調機の退社時の電源オフ	毎日	○	○
	④空調機の室内温度設定・実施の徹底	毎日	○	○
	⑤空調機フィルターの定期的清掃	年1回	○	○
	⑥日よけ、ブラインドによる室温上昇防止 (夏季)	毎日	○	○
	⑦使用しない設備・機械の電源遮断、プラグ抜き	毎日	○	○
1-2 ガソリン使用料 の削減	①社用車エコドライブの推進・徹底 (アイドリングストップ、経済運転など)	毎日	○	○
	②車両点検の実施 (車の状況、タイヤ空気圧チェックなど)	毎日	○	○
1-3. 軽油使用量の削減	①社用車エコドライブの推進・徹底 (アイドリングストップ、経済運転など)	毎日		○
	②車両点検の実施 (車の状況、タイヤ空気圧チェックなど)	毎日		○
2. 廃棄物のリサイクル化 と廃棄物排出量 の削減 (一般・産廃共通)	①廃棄物の分別促進	毎日	○	○
	②リサイクル促進	毎月	○	○
	③適切な業者の選定と引渡	適時	○	○
	④マニフェスト伝票の適切な管理	適時	○	○
3. 水使用量の削減	①節水ステッカー表示	毎日	○	○
	②節水の工夫と実施(適量の給湯、出しっ放し防止など)	毎日	○	○
4. 環境配慮型工事の推進	①排ガス対策、低燃費重機等の使用	適時		○
	②再生材使用	適時		○
	③工期の短縮	適時		○
5. 地域貢献	①地域清掃の実施	年1回	○	

評価基準

○：出来た
△：改善の余地あり
×：出来なかった

6.環境経営目標の実績、評価と今後の取組内容

取組期間：2023年7月～2024年6月（2023年度）

項 目	2020年度 実績	2023年度 目標値（△3%）	2023年度 実 績	達成度	判定	評 価 及 び 今 後 の 取 組 み 内 容
CO2排出量(kg-CO2)	45,128	43,774	40,488	108%	○	二酸化炭素排出量削減の目標は達成できた。 また、ガソリン、軽油の目標、電気使用量も達成できた。 ガソリン：工事件数は増加したが、個々の意識で少し減少できた。 軽油：重機を使用する業務が少なかったことが要因である。 経費に関連するので削減は重要である。 今後も社員の意識の向上と取り組みの強化を図っていく。
電気使用量（kWh）	8,715	8,454	7,104	119%	○	
ガソリン使用量(ℓ)	3,354	3,254	3,198	102%	○	
軽油使用量（ℓ）	12,857	12,471	12,077	103%	○	
一般廃棄物の リサイクル	—	分別活動推進	分別活動が推進できた。	100%	○	分別活動は、以前から実施しているので、社員の意識も高い。一般廃棄物、産業廃棄物共に分別の実施、リサイクル化の推進ができた。 今後も慢心しないで取り組んでいく。
産業廃棄物の リサイクル(t)	100%	建設リサイクル廃棄物のリサイクル化100%維持	建設リサイクル廃棄物のリサイクル化100%維持ができた。	100%	○	
水使用量	—	節水活動の推進	節水活動が推進できた。	100%	○	会社では地下水を使用している。 日常的に節水活動を実施した。 今後も継続していく。
環境配慮型工事の推進	—	環境配慮型工事の推進	推進できた。	100%	○	今後も継続していく。
地域貢献	地域清掃	1回/年	実施できた。	100%	○	事務所、工事現場で、地域清掃を実施した。 今後とも継続していく。

★電気の二酸化炭素排出係数は、2020年度の九州電力調整後排出係数の0.479kg-CO2/kWhを使用

☆☆二酸化炭素排出量＝電気使用量×0.479＋ガソリン使用量×2.32＋軽油使用量×2.58

〈判定基準〉○＝100%以上、△＝70～99%、×＝70%未満（是正処置対象）

7.環境法規制登録表

遵守評価の結果、環境法規の違反はありません。

なお、関連機関からの指導や訴訟もありません。

環境法規制登録表(遵守評価表)

作成日:令和5年8月21日

遵守評価日:令和6年2月7日 評価者: 木下 武

法規制等	適用内容	対象設備、施設	届出	遵守事項（法規制/自主規制）	頻度等	記録	遵守評価	コメント
家電リサイクル法	テレビ、(小型)エアコン使用	テレビ、 家庭用エアコン	—	1.リサイクル料支払い(発生時のみ)	支払い時	領収書	—	該当なし
			—	2.廃棄時の適正処置(発生時のみ)	廃棄時	業者報告書等	—	該当なし
自動車リサイクル法	公用車の適切な廃棄	公用車	—	1.リサイクル料支払い(発生時のみ)	支払い時	領収書	—	該当なし
			—	2.廃棄時の適正処置(発生時のみ)	廃棄時	業者報告書等	—	該当なし
フロン排出抑制法	業務用エアコンの廃棄 (フロン使用)	業務用エアコン 室外機		1.定期点検の実施(3ヶ月毎)	適時(3ヶ月毎)	点検表	○	
		業務用エアコン (フロン使用)		2.廃棄時の適正処理(発生時のみ) 処理委託書提出、処理報告書の受理	廃棄時	領収書、業者報告書等	○	
建設リサイクル法	建設(土木)工事に係る資材 の再資源化の促進	土木工事資材		1.土木工事に係る分別、再資源化の実施	対象工事実施時	施工計画書	○	
			○	2.対象工事の7日前までの市町村長への届出			○	
			○	3.再資源化完了の書面報告			○	
騒音規正法	土木工事における騒音規制 の順守	特定建設作業	○	1.規制基準に従った施工方法の実施	対象工事実施時	施工計画書	○	
			○	2.適切な工事時期の設定			○	
振動規正法	土木工事における振動規制 の順守		○	1.規制基準に従った施工方法の実施	対象工事実施時	施工計画書	○	
			○	2.適切な工事時期の設定			○	
廃棄物処理法	委託契約書	委託業者	—	1.委託契約書(書面)	契約時	委託契約書	○	
	マニフェスト伝票管理	委託業者	—	1.マニフェストの発行、管理	処理委託時	マニフェスト伝票	○	
				2.各票の受領確認	発行後	マニフェスト伝票	○	
	産業廃棄物の運搬	運搬作業	—	1.産業廃棄物運搬の表示	運搬時		○	
				2.マニフェスト伝票の携帯	運搬時		○	
	産業廃棄物管理票交付等 状況報告	産業廃棄物	—	1.マニフェスト伝票の集計(4月～翌年3月の1年分)	1回/年	産業廃棄物管理票交付等	○	
				2.マニフェスト伝票の携帯(同年4月～6月に届出)	1回/年	状況報告書	○	
浄化槽法	定期検査	浄化槽	○	2.法定検査(第11条)	1回/年	浄化槽法定検査結果	○	
	保守点検		○	1.保守点検(法8・10条)	1回/2ヶ月	浄化槽維持管理表	○	

8.代表者による全体評価

1. 評価

従来から環境保全については都度、取り組んで来たところである。今回はEA 21活動を、正式に2023年7月から2024年6月の間で運用した。環境経営計画に基づき環境経営目標達成に向けて全員一丸となって取組み、全ての目標が達成出来た。環境負荷は経費に連動するため、削減に努めていく。

又、社員の環境への意識向上に努め、今後の推移を見守りたい。

これからも環境保全活動に積極的に取り組んでいく。

2. 見直し

1)環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画の変更の必要性

環境経営方針の変更はなし。

環境経営目標は今期中期目標が2023年度で終わるので、2024年度から次の3ヶ年中期目標をこれまでの実績を踏まえて設定する。

環境経営計画の変更はなし。

2)環境経営システムの変更の必要性

変更の必要性はなしと判断する。

3)実施体制

変更の必要性はなしと判断する。

実施日 2024年7月1日

代表取締役 河添 里恵

9.次期環境経営目標(中期計画:2024～2026)

会計年度 期首:7月 期末:6月

		実績	環境目標		
		2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
番号	項目	基準年実績	環境目標	環境目標	環境目標
1-1	二酸化炭素排出量	41,462 kg-CO2	基準年度実績 の1%削減 41,047	基準年度実績 の2%削減 40,633	基準年度実績 の3%削減 40,218
1-2	電気使用量の削減	7,104 kWh	基準年度実績 の1%削減 7,033	基準年度実績 の2%削減 6961.92	基準年度実績 の3%削減 6890.88
1-3	ガソリン使用量の 削減	3,198 ℓ	基準年度実績 の1%削減 3,166	基準年度実績 の2%削減 3,134	基準年度実績 の3%削減 3,102
1-4	軽油使用量の削減	12,077 ℓ	基準年度実績 の1%削減 11,956	基準年度実績 の2%削減 11,835	基準年度実績 の3%削減 11,715
1-5	灯油使用量の削減	767 ℓ	基準年度実績 の1%削減 759	基準年度実績 の2%削減 752	基準年度実績 の3%削減 744
2-1	一般廃棄物の リサイクル推進	—	分別活動 の推進	分別活動 の推進	分別活動 の推進
2-2	産業廃棄物の リサイクル推進	100%	建設関連の廃棄物 のリサイクル率100%	建設関連の廃棄物 のリサイクル率100%	建設関連の廃棄物 のリサイクル率100%
3	水使用量の削減	—	節水の推進	節水の推進	節水の推進
4	環境配慮型工事の推進	—	工事の推進	工事の推進	工事の推進
5	地域貢献	地域清掃	1回/年	1回/年	1回/年

☆電気の二酸化炭素排出係数は、2020年度の九州電力調整後排出係数の0.479kg-CO2/kWhを使用

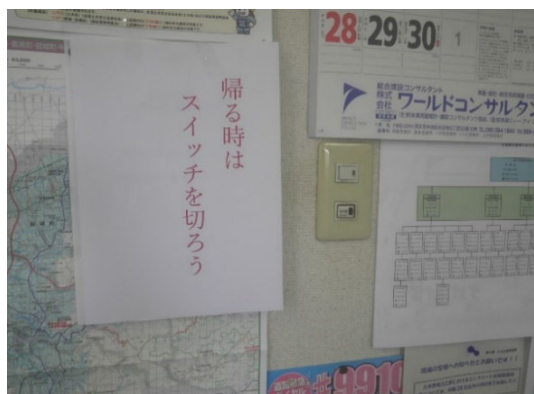
☆化学物質の使用はなし。

☆水は地下水を使用しているがメーターがないので数値は把握できない。

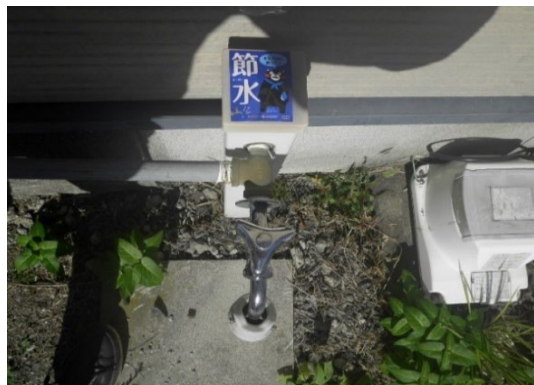
☆☆二酸化炭素排出量＝電気使用量×0.479＋ガソリン使用量×2.32＋軽油使用量×2.58＋灯油使用量×2.49

具体的な取組状況

①電力量削減 事務所（2021年11月～）



②水使用量削減 事務所（2021年11月～）



③分別活動の推進 事務所（2021年11月～） (2024年6月13日～)



④ハイブリッド車の推進

事務所 (2021年11月～)



⑤低騒音使用バックホウ

現場

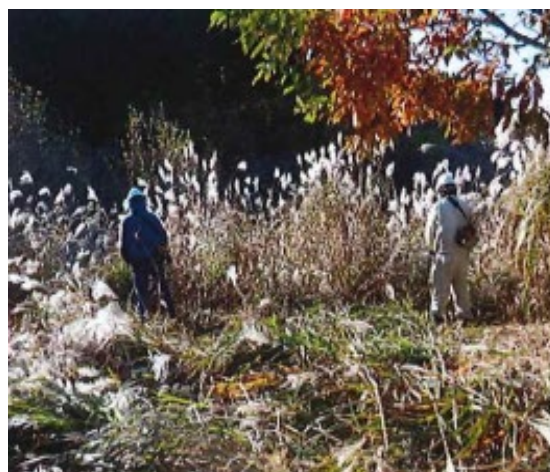
(2021年11月～)



⑥環境保全活動

(漁民の森づくり他)

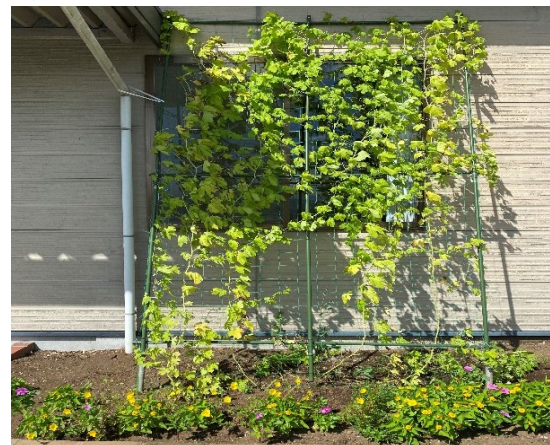
(2021年11月～)



⑦ 緑のカーテン(ゴーヤ)設置

事務所

(2021年11月～)



⑧ 緊急事態訓練 事務所 (2021年11月～)



⑨ 環境に配慮した工事



⑩ 熱中症対策

